

# Peugeot 0207 取付説明書

装着前に必ずお読み下さい。

1. 本書に使用している写真は**207GT**です。この車種ではステアリングの直進状態に合わせた足回りの調整が他の車種と比較して、必要になる場合が多いことが想定されます。ご了承下さい。
2. オーディオリモコン装着車両はその機能が使用できなくなります。本体側で操作して下さい。
3. 運転席エアバック（以下：SRS）を取り外しますと助手席、サイドSRSの衝突時の作動は保証出来ません。
4. SRS装着車には任意保険加入時に割引料金が自動的に適用されており、ステアリング交換時には必ず保険会社に連絡して下さい。
5. 当製品は**2**ピース構造になっております、上部と下部はボルトで固定されています。工場出荷時に規定のトルクで締付けてあります、絶対に緩めないで下さい。
6. 稀に車両の電气的特性により、SRS警告灯が消灯できない場合があります。ご了承下さい。
7. 純正部品の取外しに関しては自動車メーカーの整備解説書に従って作業して下さい。

## 取付けに必要な工具

トルクソケットレンチ**T50**、ビニールテープ、先端が尖っていない**φ4~5mm**の棒  
装着手順

### 1、作業開始準備

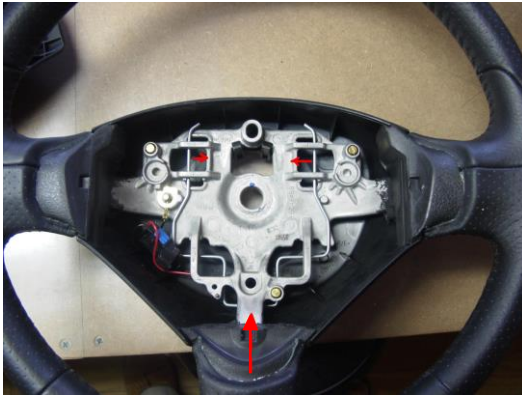


作業前に**タイヤとステアリングホイール**を直進状態にして下さい。

### 2、バッテリー端子の取外し

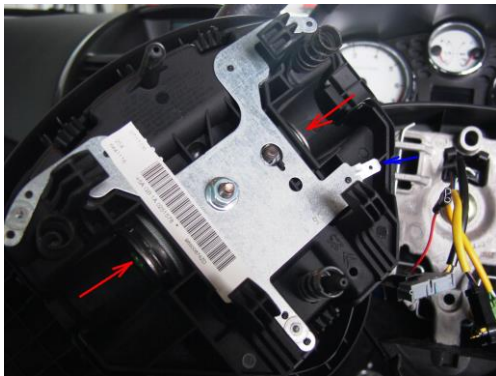
バッテリーの**+**端子を外して下さい。（作業が完全に終わるまで絶対に端子を接続しないで下さい。）

### 3、純正ステアリングの取外し方法



純正ステアリングホイールの裏側にある、時計 6 時方向にある穴にφ4~5mm 前後の棒を差し込んで下さい。ロッドスプリングを押すと SRS モジュールが外れます。

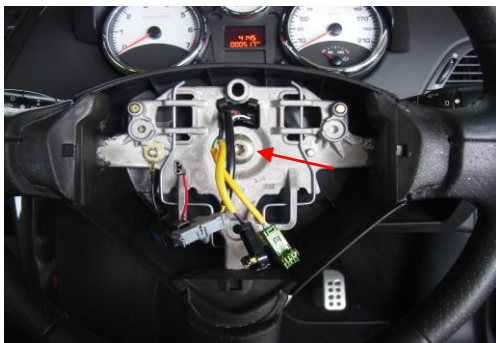
### 4、SRSモジュールの取外し



SRSモジュールを外し、裏側の**SRSコネクタ** 2箇所と**ホーン用コネクタ** 1箇所を外して下さい。SRSコネクタは背中にある1cm四方の裏蓋を浮かせると抜くことができます。

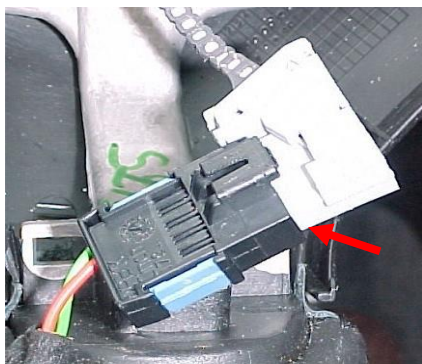
**⚠** 取り外したSRS本体には絶対に電気を流さないで下さい。(テスター等も含む)

### 5、ステアリングの取外し



センターボルトをトルクスT50 で緩めて下さい。

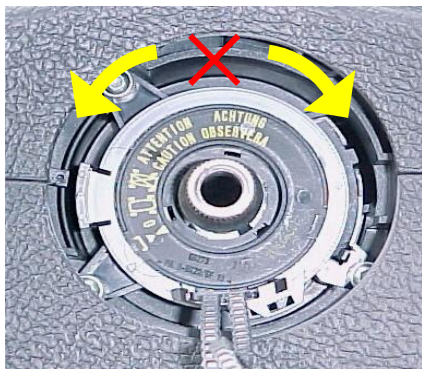
## 6、ホーン用コネクタの取外し



車体側から出ているホーン用コネクタを外してください。

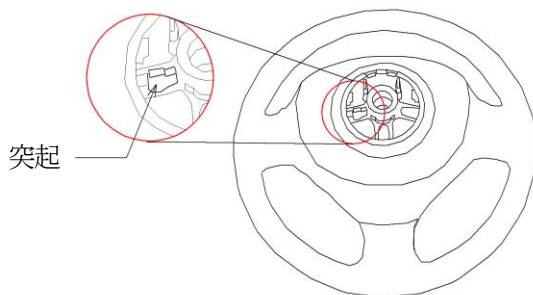
(外さないと純正ステアリングの穴からハーネスが抜けません)

## 7、注意事項



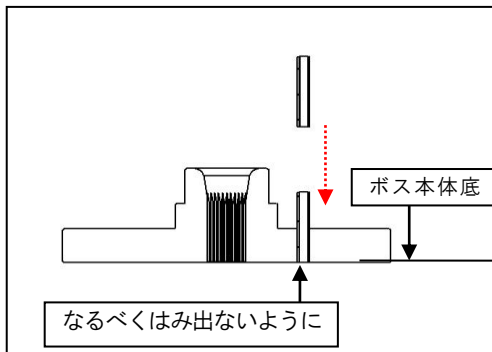
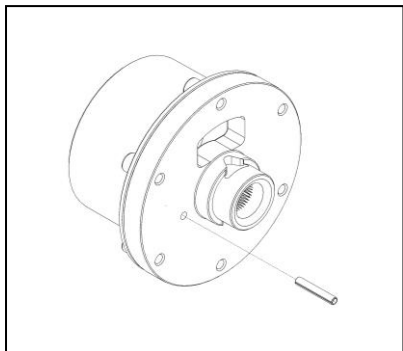
⚠ 車体側スパイラルは絶対に回さないで下さい、左右の回転数が決まっていますので、回転させてからボス等を取付けますと中の配線を切断する可能性があります。(写真は別車種です)

### 8-1、純正と見比べて付属のピンを打ち込む

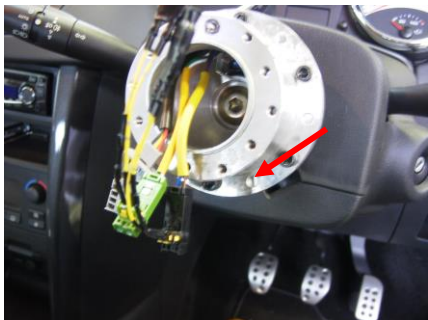


純正ハンドル裏に左図の突起がある場合は付属のピンを打ち込みます。

## 8-2、ピンの打ち込み

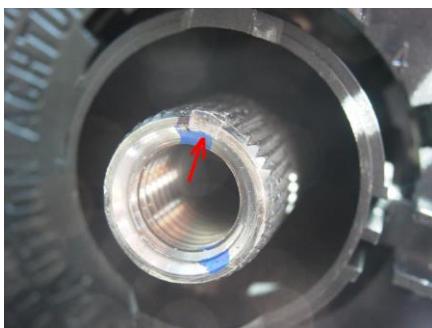


付属のピンをボス本体とツライチになるまで打ち込んで下さい。



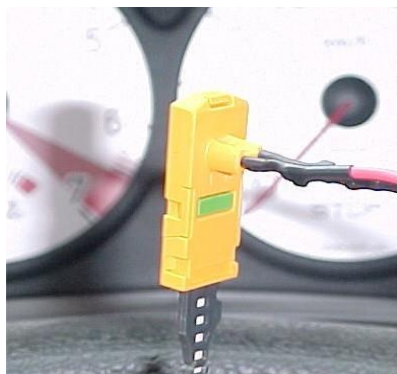
## 9、ボスの取付け

SRSコネクタとホーンコネクタをボスの四角穴から通し、トップマークを真上にしてボスを装着してセンターボルトで軽く締めて下さい。



⚠ プジョー**207** のステアリングシャフトには特殊な「カシメ」が施してあります。ボスにもこのカシメに対応する溝が設けてありますが、カシメ位置が車両により個体差が多く、ステアリング直進状態とわずかにずれる場合が想定されます。この場合、ステアリングに合わせて足回り調整（タイロッド）にて直進状態に調整して下さい。

## 10、SRSモニターランプ対策



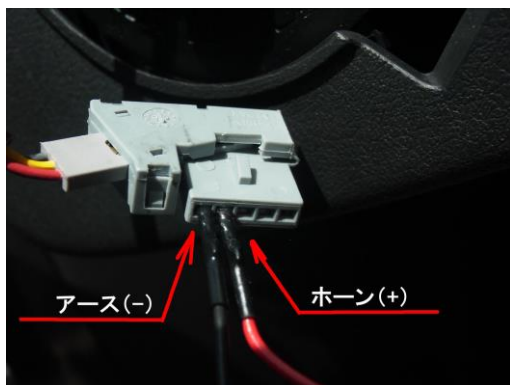
付属のダミーハーネスをSRSコネクタの2箇所  
の穴に挿入してビニールテープ等で外れないよ  
うに固定して下さい。極性はありません。二つのS  
RSコネクタにそれぞれ行ってください。(この線  
を使用しない、又は接触不良ですと、取付け終了  
後、イグニッションキーを入れた時、SRSモニ  
ターランプが消えません。消灯させる為にはデー  
ラーの診断コンピュータが必要になります。)

## 11、ボス本体の締め付け

センターボルトをトルクスレンチを使用して規定トルクで締め付けて下さい。必要  
であればステアリングホイールを仮付けして行って下さい。

**⚠️ 規定トルクは 30N・m です。強過ぎますとボス又は車両側の部品を破損する恐  
れがあります。**

## 12、配線の接続線



車体側から出ているホーンコネクタ  
に付属の配線を接続して下さい。**赤線  
がホーン (+)** で黒線がアース (-)  
です。写真を参照に差込み、絶縁テー  
プで固定して下さい。

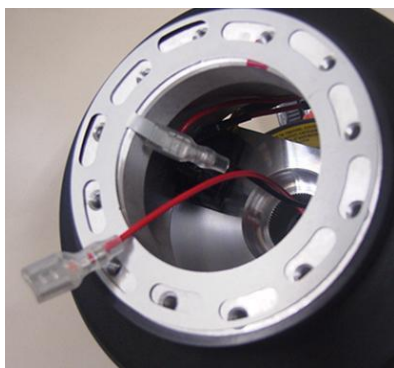
### 13、ホーンボタンの配線



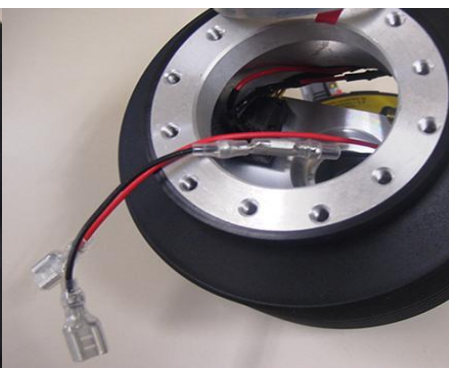
MOMO-1 極タイプ  
(アースリングを使用)



MOMO-2 極タイプ  
(変換コードを使用)



NARDI-1 極タイプ  
(ホーンリング不使用)



NARDI-2 極タイプ  
(変換コード使用、ホーンリング不使用)

### 14、ステアリングホイールの取付け

ステアリングホイール及びホーンボタンをボスに固定して下さい。配線の接続方法は使用するステアリングとホーンボタンによって違うので13を参考に接続して下さい。

### 15、作業終了

バッテリーを接続し、ホーンが鳴ることとSRSの警告灯が消灯することを確認して作業は終了です

### 16、保管

取り外したSRSモジュールは純正ステアリングに取付けた状態でSRS本体を上に向け保管して下さい。(保管方法はディーラーにご相談下さい)

## トラブルシューティング

Q：SRSモニターランプが消灯しない（しばらくしてから点灯する）

A：作業中イグニッションキーを入れた、ジャンパー線を装着していない、ジャンパー線の接続不良、等、

対策：ジャンパー線の接続を確認後、ディーラーの診断コンピュータで消灯して下さい。

（ジャンパー線を接続していなかったり、接続不良だと消えません）

Q：ステアリングのTOPが出ない

A：シャフトスプラインの1山以内のズレはタイロッドで調整します。

対策：ディーラー又は整備工場で調整して下さい。

Q：ステアリングを切ると異音がする

A：ボス内のSRSコネクタが干渉している

対策：動いているカプラー等をテープ又はタイラップ等で固定して下さい

## 株式会社ワークスベル

〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL 0266-79-3761 FAX 0266-79-4706

Email : support@worksbell.co.jp

URL : <http://www.worksbell.co.jp>